

科目名：アジア共同体の可能性

講義の目的：アジア及びアジア共同体を学習すること。なおアジアの共同体の具体例として ASEAN（東南アジア諸国連合）と SAARC（南アジア地域協力連合）を取り上げる。

開講期：2017 年度後期

講義回数：15 回（2 単位）

評価方法：定期試験またはレポート

#### 講義内容

第 01 回（10 月 6 日）歴史的視点から考えるアジアの多様性とアジア共同体（担当者：豊嘉哲、山口大学経済学部教授）

第 02 回（10 月 13 日）国際公共管理論から見たアジア共同体（富本幾文、山口大学特命教授）

第 03 回（10 月 20 日）地域概念としてのインド太平洋の可能性：地域化、地域主義、アジア共同体（大岩隆明、山口大学経済学部教授）

第 04 回（10 月 27 日）アジア共同体の社会文化的背景（齋藤匡史、山口大学経済学部教授）

第 05 回（11 月 7 日）アジア共同体と文化・芸術・教育：アジア欧州会議（ASEM）の文化，芸術，教育分野の活動から学ぶ（豊嘉哲）

第 06 回（11 月 10 日）アジア共同体と SAARC：アジアの地域経済統合から眺めたバングラデシュ経済（仲間瑞樹、山口大学大学院東アジア研究科教授）

第 07 回（11 月 17 日）アジア共同体と SAARC：インドの経済開発とアジアの地域化（山本勝也、山口大学大学院東アジア研究科准教授）

第 08 回（11 月 24 日）アジア共同体、SAARC、バングラデシュ（Iqbal MOHMOOD: Chairman, Anti-Corruption Committee, Bangladesh）

第 09 回（12 月 1 日）アジア共同体、SAARC、南アジアの国際関係（Delwar HOSSAIN: PhD, Professor of International relations and Director of the East Asia Study Center, University of Dhaka）

第 10 回（12 月 8 日）ASEAN とミャンマー（馬田哲次、山口大学経済学部教授）

第 11 回 (12 月 15 日) ASEAN とインドネシア経済 (Komara DJAJA: Head of Graduate Program in Urban Studies, Universitas Indonesia (former Secretary of Coordinating Ministry of Economic Affairs, Indonesian Government))

第 12 回 (12 月 22 日) ASEAN の経済開発とアジア共同体 (Phanhpakit ONPHANHDALA: Dr., Deputy Director General of Lao-Japan Institutes, National University of Lao, Faculty of Economic and Business Management)

第 13 回 (1 月 11 日) ASEAN の農産物貿易 (Kampanat PENSUPAR: Ph.D., Asst. Prof., Kasetsart University, Thailand)

第 14 回 (1 月 19 日) 理系研究者が語るアジア共同体 (成富敬、山口大学経済学部教授)

第 15 回 (1 月 26 日) (ワンアジア財団担当者さま)

※講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。